

教育学部の教育理念

「豊かな人間性と教育にかかわる高い専門性を備えた、社会に貢献できる人材を育成する」

教育学部では、人が社会の中で意欲を持って生活することや、社会のよりよい在り方について、教育に携わる立場から真剣に取り組む人材を育成することを目指している。「教育」は人との関わりの中で展開するものであり、教育者の姿勢が少なからず影響するものである。ゆえに、教育に携わる人材として豊かな人間性を持って欲しい、という思いがある。また、学生個々が社会を構成する一員となることを踏まえ、社会の中で一人の人間として豊かに生きていくことのできる人間として育てて欲しいという思いもあり、教育に携わる人材育成の基盤として「豊かな人間性」を置いている。

その上で、社会に生じる様々な教育的課題について、高い専門性から解決に取り組むことのできる人材を育成する。

こども教育学科

【教育理念】

豊かな人間性と理論に裏付けされた実践的な教育力を持ち、新しい時代や社会に対応できる質の高い保育士・教員を養成する。

教育学部こども教育学科では、保育士、幼稚園教諭、及び小学校教諭の養成を目指している。これからの社会を担うこどもたちが、社会の中で他者と協働しながら意欲的に生活していくことのできる人材として育つよう、教育に関わる立場から支援できる人材を育成することを使命と受け止めている。

まず、こどもが信頼を寄せることのできる「豊かな人間性」をもった人材を育成し、こどもが人一般に対して信頼を寄せ、協働することの楽しさを感じることのできる原点を形成する。

その上で、教育に関する理論と実践力を持ち、こどもに関わることのできる力を育てる。

また、「理論に裏付けされた実践的な教育力」を育て、自らの実践について理論に基づいて省みて、自らの専門性をより高める人材育成を目指している。

更に、社会情勢・教育的課題は今後も変動するものであり、新たな課題を掌握・予測し、それに柔軟に対応する力も育成する。

【教育目標】

1. こどもの保育・教育に携わる者として、豊かな人間性と高い倫理観を養う
2. こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能を深く修得する
3. 理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力を身につける
4. 実践の場において自ら課題を見だし研究することにより、保育や教育の質を高める態度を育む

【アドミッションポリシー】

1. 保育士・教員になることを目指している人
2. 基礎学力のある人
3. 課題を発見し、探究する意欲のある人
4. 自分も他者とともに尊重し、協働して行動できる人

高等学校等においては、特定の教科に偏らず、すべての教科の基礎的な学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力の基礎を修得していることを求めます。また保育士・教員は、人間性豊かであることが必要なため、課外活動にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

【カリキュラムポリシー】

1. 「豊かな人間性と高い倫理観」を育むために「基盤教育分野」を充実させる。
2. 「専門知識と技能を深く修得する」ための導入として、また「理論と実践を統合」することを促すための導入としての「専門基礎分野」をおく。
3. 「専門知識と技能を深く修得」し、「理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力を身につける」ために、「専門分野」を充実させる。
4. 「専門知識と技能を深く修得」することを一層深め、また「実践の場において自ら課題を見いだし研究することにより、保育や教育の質を高める態度を育む」ために「専門発展分野」を設け、充実した科目配置とする。

【ディプロマポリシー】

卒業に必要な所定の単位を修得し、以下の能力や資質を身につけた学生に「教育学士」を授与する。

1. こどもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観
2. こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能
3. 理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力
4. 実践の場において自ら課題を見いだし研究することにより、保育や教育の質を高める態度

【取得できる免許状・資格】

1. 保育士資格
2. 幼稚園教諭一種免許状
3. 小学校教諭一種免許状
4. 社会福祉主事任用資格

【履修要領】

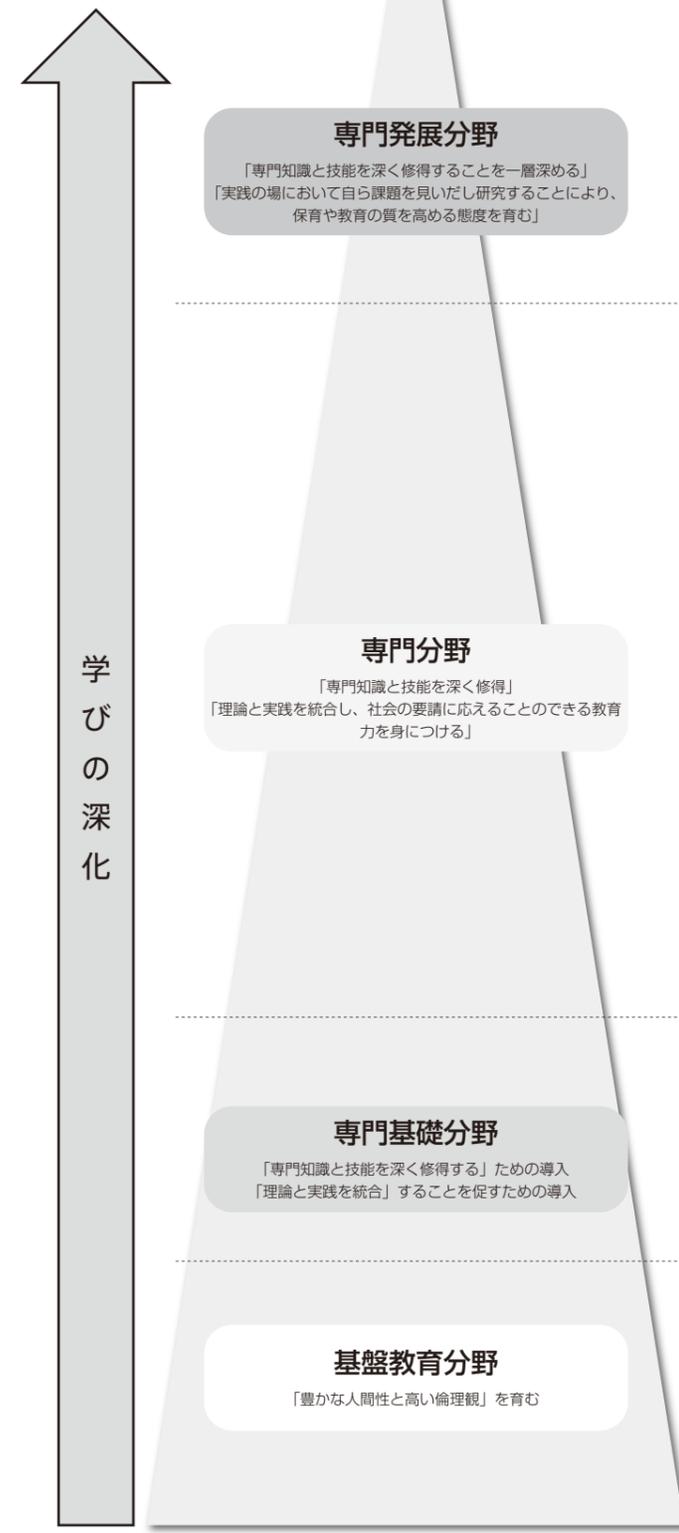
I 卒業所要単位

こども教育学科においては、本学に4年以上在学し、124単位以上を修得した者に卒業が認定され、学士の学位が授与される。124単位の内容は次のとおりである。

1. 必修科目については、基盤教育分野から3単位、専門基礎分野から16単位、専門分野から6単位、専門発展分野から4単位合計29単位を修得する。
2. 選択科目については、基盤教育分野の①2単位以上、②2単位以上、専門発展分野の③10単位以上を修得するとともに、すべての選択科目から81単位以上、合計95単位以上修得する。

神戸常盤大学 教育学部 こども教育学科 カリキュラムマップ (令和3年度) 保育者養成コース

カリキュラム概念図
(カリキュラムポリシー)



こども教育学科教育理念 豊かな人間性と理論に裏付けされた実践的な教育力を持ち、新しい時代や社会に対応できる質の高い保育士・教員を養成する。

	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門研究				保育・教育課題研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ★ 保育・教育課題研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ★ 保育・教育課題研究Ⅲ	卒業研究Ⅲ★	卒業研究Ⅳ★ 教職実践演習(幼稚園・小学校) 保育実践演習
専門発展理論・実践			カウンセリングの技法*	障害者福祉特論* 野外あそび実践*	施設運営・防災と危機管理*	海外研修* リトミックⅠ* 子どもの障害と医療* 子どもの歯と健康* 玩具と文化*	教育と情報* ピアノ/実践奏法* リトミックⅡ* 子どものリスクとレジリエンス* 多文化理解教育論* 子どもの表現文化*	海外研修* 保育・教育メソッド* 生き物と自然の力* 防災教育実践*
専門実習					教育実習指導 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ	教育実習(幼稚園) 保育実習Ⅰ(社会福祉施設) 保育実習指導Ⅰ	インターンシップB 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	インターンシップB
保育・教育の専門的事項			子どもと造形表現 子どもと言葉	子どもと身体表現		子どもと音楽表現	子どもと環境 子どもと健康	子どもと人間関係
保育・教育の内容と方法		保育内容総論	障害児の理解と支援Ⅰ 乳児保育Ⅰ 保育内容(音楽表現) 保育内容(環境) 保育内容(言葉) 保育内容(健康)	障害児の理解と支援Ⅱ 乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅱ 保育内容(造形表現) 保育内容(人間関係) 保育の計画と評価	特別支援教育 保育指導法 教育課程総論	教育方法・技術論★		
子どもの生活と保護者への支援			幼児理解		教育相談	子ども家庭支援論	子育て支援	
子どもの心と体の理解		発達心理学	子どもの保健	子どもの理解と援助 子どもの健康と安全	保育の心理学 子どもの食と栄養Ⅰ 教育心理学★	子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養Ⅱ		
保育・教育の理論		子ども家庭福祉 保育者論	社会的養護Ⅰ 教育の思想と歴史 教職論★	教育行政学				
基礎研究	基礎研究演習Ⅰ★	基礎研究演習Ⅰ★	基礎研究演習Ⅱ★	基礎研究演習Ⅱ★				
基礎技能	基礎体育★ 基礎図画工作Ⅰ★ 基礎音楽Ⅰ★	基礎図画工作Ⅱ★ 基礎音楽Ⅱ★		基礎音楽Ⅲ★				
基礎理論	社会福祉★ 保育原理★	教育原理★						
創造実践科目群								
人間探究科目群	日本国憲法 英語コミュニケーションⅠ 健康スポーツ科学Ⅰ 情報基礎	英語コミュニケーションⅡ 健康スポーツ科学Ⅲ 情報メディア演習						
学びの始め科目群	まなぶる▶ときわびとⅠ★	まなぶる▶ときわびとⅡ★						

基盤教育分野のカリキュラム表を参照
(卒業必修科目と免許・資格必修科目のみを表示)

★卒業必修 *より10単位以上選択必修

ディプロマ
ポリシー

実践の場において自ら課題を見出し、研究することにより、保育の質を高める態度

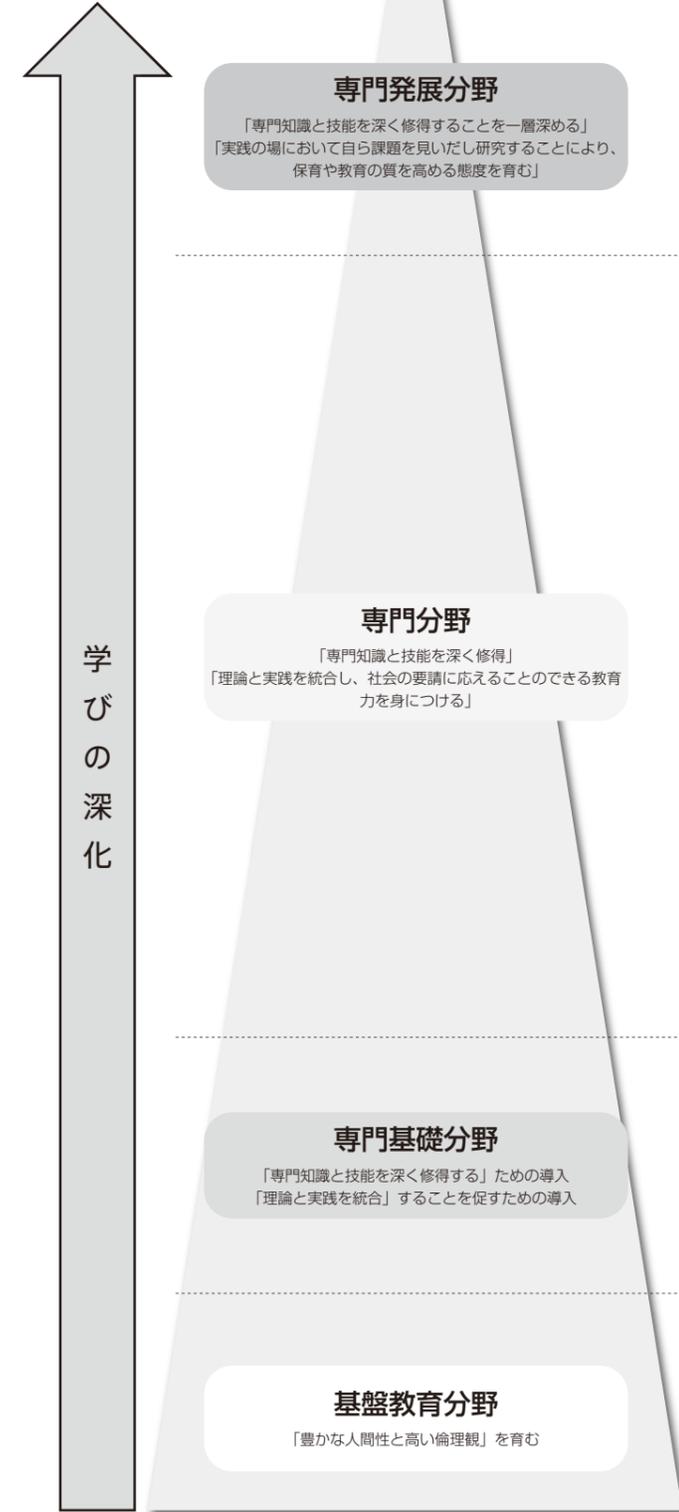
理論と実践を統合し、社会の要請に応えることができる教育力

子どもの心身の発達を支えるための専門知識と技能

子どもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観

神戸常盤大学 教育学部 こども教育学科 カリキュラムマップ (令和3年度) 教員養成コース

カリキュラム概念図
(カリキュラムポリシー)



こども教育学科教育理念 豊かな人間性と理論に裏付けされた実践的な教育力を持ち、新しい時代や社会に対応できる質の高い保育士・教員を養成する。

	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門研究				保育・教育課題研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ★ 保育・教育課題研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ★ 保育・教育課題研究Ⅲ	卒業研究Ⅲ★	卒業研究Ⅳ★ 教職実践演習(幼稚園・小学校)
専門発展理論・実践			カウンセリングの技法*	障害者福祉特論* 野外あそび実践*	施設運営・防災と危機管理*	教科指導法特論Ⅰ* 海外研修* リトミックⅠ* 子どもの障害と医療* 子どもの歯と健康* 玩具と文化*	教科指導法特論Ⅱ* 教育と情報* ピアノ実践奏法* リトミックⅡ* 子どものリスクとレジリエンス* 多文化理解教育論* 子どもの表現文化*	教科指導法特論Ⅲ* 海外研修* 保育・教育メソッド* 生き物と自然の力* 防災教育実践*
専門実習					教育実習指導	教育実習(小学校)	インターンシップB 介護等体験	インターンシップB 介護等体験 教育実習(幼稚園)
教科の指導法				教科指導法(図画工作) 教科指導法(音楽) 教科指導法(生活)	教科指導法(外国語) 教科指導法(体育) 教科指導法(家庭) 教科指導法(理科) 教科指導法(算数) 教科指導法(社会) 教科指導法(国語)			
保育・教育の専門的事項			小学校英語 生活 算数 子どもと造形表現(幼) 子どもと言葉(幼)	家庭 理科 社会 国語 子どもと身体表現(幼)	小学校図画工作 小学校音楽	小学校体育 子どもと音楽表現(幼)	子どもと環境(幼) 子どもと健康(幼)	子どもと人間関係(幼)
保育・教育の内容と方法		保育内容総論(幼)	特別活動の指導法 保育内容(音楽表現)(幼) 保育内容(環境)(幼) 保育内容(言葉)(幼) 保育内容(健康)(幼)	保育内容(造形表現)(幼) 保育内容(人間関係)(幼)	総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育 保育指導法(幼) 教育課程総論	道徳教育の理論と実践 教育方法・技術論★		
子どもの生活と保護者への支援			幼児理解(幼)		教育相談		生徒・進路指導論	
子どもの心と体の理解					教育心理学★			
保育・教育の理論			教育の思想と歴史 教職論★	教育行政学				
基礎研究	基礎研究演習Ⅰ★	基礎研究演習Ⅰ★	基礎研究演習Ⅱ★	基礎研究演習Ⅱ★				
基礎実習			インターンシップA	インターンシップA				
基礎技能	基礎体育★ 基礎図画工作Ⅰ★ 基礎音楽Ⅰ★	基礎図画工作Ⅱ★ 基礎音楽Ⅱ★		基礎音楽Ⅲ★				
基礎理論	社会福祉★ 保育原理★	教育原理★						
創造実践科目群								
人間探究科目群	日本国憲法 英語コミュニケーションⅠ 健康スポーツ科学Ⅰ 情報基礎	英語コミュニケーションⅡ 健康スポーツ科学Ⅲ 情報メディア演習	基盤教育分野のカリキュラム表を参照 (卒業必修科目と免許・資格必修科目のみを表示)					
学びの始め科目群	まなぶる▶ときわびとⅠ★	まなぶる▶ときわびとⅡ★						

★卒業必修 *より10単位以上選択必修 (幼) 幼児1種取得に関連する科目

ディプロマ
ポリシー

実践の場において自ら課題を見出し研究することにより、保育や教育の質を高める態度

理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力

子どもの心身の発達を支えるための専門知識と技能

子どもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観

こども教育学科 カリキュラムマップ

教育課程	ディプロマポリシー		[DP1] こどもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観	[DP2] こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能	[DP3] 理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力	[DP4] 実践の場において自ら課題を見いだし研究することにより、保育や教育の質を高める態度
	学修成果	必要十分な豊かな人間性をもっている				
学科 の 目 始 め	関連 ときわコンピテンシー		知識・思考力・市民性 創造力・市民性	知識・思考力	知識・思考力 創造力	創造力
	まなぶる▶とさわびとI	まなぶる▶とさわびとII	○			
基礎教育	大学道場 miniゼミA	大学道場 miniゼミB	○			
	超とさわびと	情報メディア演習	○			
人間探求科目群	健康スポーツ科学I	健康スポーツ科学II	○			
	アカデミックライティング	コミュニケーション論	○			
人間探求科目群	英語コミュニケーションI	英語コミュニケーションII	○			
	英語A a (Communicative English Basic)	英語A b (Communicative English Intermediate)	○			
基礎教育	英語B (Presentation)	英語C (Cultural Studies)	○			
	英語D (Academic English)	手話コミュニケーション	○			
基礎教育	いのちと共生	人類と地球環境	○			
	暮らしの中の数学	統計	○			
基礎教育	暮らしの中の物理学	現代社会と化学	○			
	人体のふしぎ	現代社会と生命科学	○			
基礎教育	安全	人類と農学	○			
	プログラミング入門	日本憲法	○			
基礎教育	哲学	生命と倫理	○			
	芸術文化	文通	○			
基礎教育	日本	世界の時事	○			
	現代社会	経済	○			
基礎教育	心理	人間関係	○			
	教育と人間	地域との協働A	○			
基礎教育	地域との協働B	災害とまちづくり	○			
	コミュニケーションデザイン	ライフデザイン	○			

専門基礎	専門分野
基礎理論	保育原理 教育原理 社会福祉
基礎技能	基礎音楽I 基礎音楽II 基礎音楽III
	基礎図画工作I 基礎図画工作II 基礎図画工作III
基礎実習	インターンシップA
基礎研究	基礎研究演習I 基礎研究演習II
	保育者論 教育行政論 教育の思想と歴史
専門分野	子どもの心的発達 子どもの食と栄養 子どもの健康と安全
	子どもの心理 子ども家庭支援の心理学 発達心理学
保育・教育の理論	保育の計画と評価 保育の内容総論

教育課程	ディプロマポリシー	【DP1】 こどもの保育・教育に携わる者に 必要な豊かな人間性と高い倫理観		【DP2】 こどもの心身の発達を支えるための 専門知識と技能	【DP3】 理論と実践を統合し、社会の要請 に応えることのできる教育力		【DP4】 実践の場において自ら課題を見い だし研究することにより、保育や 教育の質を高める態度
		こどもの保育・ 教育に必要な豊 かな人間性を もっている	こどもの保育・ 教育に必要な倫 理観をもって行 動することので きる		幅広い分野の知 識・技能を基に して、保育・教 育の課題につい て多面的な見 方・考え方をす ることができる	社会の要請に応 じた保育・教育 の課題について 思考、判断し、 新たな価値を生 み出すことがで きる	
教育課程	学修成果	こどもの保育・ 教育に必要な豊 かな人間性を もっている	こどもの保育・ 教育に必要な倫 理観をもって行 動することので きる	こどもの心身の発達を支えるための に必要な専門的知識や技能を習得 している	知識・思考力 創造力・市民性	知識・思考力 創造力	創造力
		知識・思考力・ 創造力・市民性	知識・思考力・ 創造力・市民性				
専門分野	保育・教育の内容と方法	関係 とさわコンピテンシー	関係 とさわコンピテンシー	○	知識・思考力	知識・思考力・ 創造力	創造力
		保育内容（健康）	保育内容（健康）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育内容（言葉）	保育内容（言葉）	○			
		保育内容（環境）	保育内容（環境）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育内容（人間関係）	保育内容（人間関係）	○			
		保育内容（造形表現）	保育内容（造形表現）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育内容（音楽表現）	保育内容（音楽表現）	○			
		社会的養護Ⅱ	社会的養護Ⅱ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	○			
		乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	障害児の理解と支援Ⅰ	障害児の理解と支援Ⅰ	○			
		障害児の理解と支援Ⅱ	障害児の理解と支援Ⅱ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	特別支援教育	特別支援教育	○			
		教育方法・技術論	教育方法・技術論	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	道徳教育の理論と実践	道徳教育の理論と実践	○			
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	総括活動の指導法	総括活動の指導法	○			
		子どもと健康	子どもと健康	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	子どもと人間関係	子どもと人間関係	○			
		子どもと環境	子どもと環境	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	子どもと言葉表現	子どもと言葉表現	○			
		子どもと音楽表現	子どもと音楽表現	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	子どもと造形表現	子どもと造形表現	○			
		子どもと身体表現	子どもと身体表現	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	国語	国語	○			
		社会	社会	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	算数	算数	○			
		生活科	生活科	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	理科	理科	○			
		家庭	家庭	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	小学校英語	小学校英語	○			
		小学校音楽	小学校音楽	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	小学校図画工作	小学校図画工作	○			
		小学校体育	小学校体育	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教科指導法（国語）	教科指導法（国語）	○			
		教科指導法（社会）	教科指導法（社会）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教科指導法（算数）	教科指導法（算数）	○			
		教科指導法（生活）	教科指導法（生活）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教科指導法（理科）	教科指導法（理科）	○			
		教科指導法（家庭）	教科指導法（家庭）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教科指導法（音楽）	教科指導法（音楽）	○			
		教科指導法（図画工作）	教科指導法（図画工作）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教科指導法（体育）	教科指導法（体育）	○			
		教科指導法（外国語）	教科指導法（外国語）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導Ⅰ	○			
		保育実習Ⅰ（保育所）	保育実習Ⅰ（保育所）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育実習Ⅰ（社会福祉施設）	保育実習Ⅰ（社会福祉施設）	○			
		保育実習指導Ⅱ	保育実習指導Ⅱ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅱ	○			
		保育実習指導Ⅲ	保育実習指導Ⅲ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育実習Ⅲ	保育実習Ⅲ	○			
		教育実習指導	教育実習指導	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教育実習（幼稚園）	教育実習（幼稚園）	○			
		教育実習（小学校）	教育実習（小学校）	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	介護等体験	介護等体験	○			
		インターンシップB	インターンシップB	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	玩具と文化	玩具と文化	○			
		生き物と自然の力	生き物と自然の力	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	野外あそび実践	野外あそび実践	○			
		子ども表現文化	子ども表現文化	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	多文化理解教育論	多文化理解教育論	○			
		子どもの歯と健康	子どもの歯と健康	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	子どもの障害と医療	子どもの障害と医療	○			
		カウセリングの技法	カウセリングの技法	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	子どものリスクとレジリエンス	子どものリスクとレジリエンス	○			
		施設運営・防災と危機管理	施設運営・防災と危機管理	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	防災教育実践	防災教育実践	○			
		障害者福祉特論	障害者福祉特論	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	リトミックスⅠ	リトミックスⅠ	○			
		リトミックスⅡ	リトミックスⅡ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	ピアノ実践奏法	ピアノ実践奏法	○			
		教育と情報	教育と情報	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	海外研修	海外研修	○			
		教科指導法特論Ⅰ	教科指導法特論Ⅰ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教科指導法特論Ⅱ	教科指導法特論Ⅱ	○			
		教科指導法特論Ⅲ	教科指導法特論Ⅲ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育・教育課題研究Ⅰ	保育・教育課題研究Ⅰ	○			
		保育・教育課題研究Ⅱ	保育・教育課題研究Ⅱ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	保育・教育課題研究Ⅲ	保育・教育課題研究Ⅲ	○			
		保育実践演習	保育実践演習	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	教職実践演習（幼稚園・小学校）	教職実践演習（幼稚園・小学校）	○			
		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	○			
		卒業研究Ⅲ	卒業研究Ⅲ	○			
専門分野	保育・教育の内容と方法	卒業研究Ⅳ	卒業研究Ⅳ	○			

MEMO

学科別履修要領／こども教育学科

区分	授業科目	授業形態	単位数			1年		2年		3年		4年		備考
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基 盤 教 育 分 野	学びの始め	まなぶる ▶ と き わ び と I	演習	2			2							① 2単位以上 選択必修
		まなぶる ▶ と き わ び と II	演習	1				1						
		大学道場 miniゼミ A	演習		1		1							
		大学道場 miniゼミ B	演習		1			1						
		超ときわびと	演習		1				1					
		情報基礎	演習		1		1							
		情報メディア演習	演習		1			1						
		健康スポーツ科学 I	講義		1		1							
		健康スポーツ科学 II	演習		1		1							
		健康スポーツ科学 III	実技		1			1						
		アカデミックライティング	演習		1			1						
		コミュニケーション論	講義		1		1							
		英語コミュニケーション I	演習		1		1							
		英語コミュニケーション II	演習		1			1						
		英語A a (Communicative English Basic)	演習		1		1		1			1		
		英語A b (Communicative English Intermediate)	演習		1			1		1			1	
		英語B (Presentation)	演習		1				1		1		1	
		英語C (Cultural Studies)	演習		1				1		1		1	
		英語D (Academic English)	演習		1					1			1	
		手話コミュニケーション	演習		1		1		1				1	
		いのちと共生	講義		1			1						
		人類と地球環境	講義		1		1							
		暮らしの中の数学	講義		1		1		1				1	
		統計学	講義		1		1		1				1	
		暮らしの中の物理学	講義		1		1		1				1	
		現代社会と化学	講義		1		1		1				1	
		人体のふしぎ	講義		1		1		1				1	
		現代社会と生命科学	講義		1		1		1				1	
		安全全科学	講義		1		1		1				1	
		人類と農学	講義		1		1		1				1	
		プログラミング入門	演習		1			1					1	
		日本国憲法	講義		2		2		2				2	
		哲学	講義		1		1		1				1	
		生命と倫理	講義		2			2		2			2	
		芸術文化	講義		1		1		1				1	
		文学	講義		1		1		1				1	
		日本通史	講義		1		1		1				1	
		世界の時事	講義		1		1		1				1	
		現代の社会学	講義		1		1		1				1	
		経済学	講義		1		1		1				1	
	心理臨床学	講義		2			2		2			2		
	人間関係学	講義		1		1		1				1		
	教育と人間	講義		1		1		1				1		
	創造実践	地域との協働 A	演習		1		1			1		1		
		地域との協働 B	演習		1			1				1		
		災害とまちづくり	講義		1		1		1			1		
		コミュニティデザイン	講義		1		1		1			1		
		ライフデザイン	演習		1		1		1			1		
専 門 基 礎 分 野	基礎理論	保育学原論	講義	2			2							② 2単位以上 選択必修
		教育学原論	講義	2				2						
		社会福祉	講義	2			2							
		基礎音楽 I	演習	1			1							
		基礎音楽 II	演習	1				1						
		基礎音楽 III	演習	1					1					
		基礎図画工作 I	演習	1			1							
		基礎図画工作 II	演習	1				1						
		基礎図画工作 III	演習	1					1					
		基礎図画工作 IV	演習	1						1				
	基礎実習	インターシッパ A	実習		1				1					
	基礎研究	基礎研究演習 I	演習	2			2							
		基礎研究演習 II	演習	2				2						
専 門 分 野	保育・教育の理論	保育者論	講義		2				2					② 2単位以上 選択必修
		教育行政学	講義		2					2				
		教育の思想と歴史	講義		2						2			
		子どもの家庭福祉	講義		2						2			
		社会的養護 I	講義		2							2		
		教育心理学	講義	2								2		
		子どもの食と栄養 I	演習		1						1			
		子どもの食と栄養 II	演習		1							1		
		子どもの食と健康	講義		2				2					
		子どもの健康と安全	演習		1					1				
		保育の心理学	講義		2						2			
		子ども家庭支援の心理学	講義		2							2		
		子どもの理解と援助	演習		1						1			
		発達心理学	講義		2					2				
		幼児心理学	講義		2					2				
	保育者の支援	講義		2						2				
	子育て支援	演習		1							1			
	子ども家庭支援論	講義		2						2				
	生徒進路指導	講義		2							2			

MEMO

学科別履修要領／こども教育学科

II 履修上の注意事項

1. 保育士資格の取得

(1) 保育士資格を取得するには、本学に4年以上在学し、卒業所要単位を修得し、かつ「児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法」(平成30年厚生労働省告示第216号)に定める次の教科目および単位数を最低修得しなければならない。

- 1) 教養科目 8単位以上(別表A「保育士資格教養科目」を精読のこと)
- 2) 専門科目(必修) 25教科目 61単位(別表B備考を精読のこと)
- 3) 専門科目(選択必修) 9単位以上(")
- 合 計 78単位以上

(2) 保育士資格取得に必要な単位を修得した者には、保育士登録申請にかかる所定の手続きを経たのち、都道府県知事から保育士証が交付される。

別表A 保育士資格教養科目

告示よる教科目				こども教育学科で開設している授業科目		開設単位数		保育士資格取得のための最低単位数
系列	教科目	授業形態	指定単位数	授業科目	授業形態	必修	選択	
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	まなぶる▶ときわびとI	演習	2		6単位以上 選択必修
				まなぶる▶ときわびとII	演習	1		
				日本国憲法	講義		2	
				情報基礎	演習		1	
				情報メディア演習	演習		1	
		外国語	演習	2以上	英語コミュニケーションI	演習		
				英語コミュニケーションII	演習		1	
	体育	講義	1	健康スポーツ科学I	講義		1	取得必修
		実技	1	健康スポーツ科学III	実技		1	取得必修
	合 計		10単位以上	合 計		3	8	8単位以上

別表B 保育士資格取得に必要な単位

系列	児童福祉法施行規則 告示別表第1による科目		指 定 単位数	こども教育学科で 開設している授業科目		開設単位数		保育士資格取得の ための単位数	
	教 科 目	授業形態	必 修	授 業 科 目	授業形態	必 修	選 択	必 修	選 択
保育の本質・目的 に関する科目	保 育 原 理	講義	2	保 育 原 理	講義	2		2	
	教 育 原 理	講義	2	教 育 原 理	講義	2		2	
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義		2	2	
	社 会 福 祉	講義	2	社 会 福 祉	講義	2		2	
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義		2	2	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義		2	2	
	保 育 者 論	講義	2	保 育 者 論	講義		2	2	
保育の対象の理解 に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義		2	2	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義		2	2	
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習		1	1	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義		2	2	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養Ⅰ	演習		1	1	
				子どもの食と栄養Ⅱ	演習		1	1	
保育の内容・方法 に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義		2	2	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習		1	1	
	保育内容演習	演習	5	保育内容（環 境）	演習		2	2	
				保育内容（人間関係）	演習		2	2	
				保育内容（健 康）	演習		2	2	
				保育内容（言 葉）	演習		2	2	
				保育内容（造形表現）	演習		2	2	
				保育内容（音楽表現）	演習		2	2	
	保育内容の理解と方法	演習	4	子どもと造形表現	演習		1	1	
				子どもと音楽表現	演習		1	1	
				子どもと身体表現	演習		1	1	
				子どもと環境	演習		2	2	
				子どもと言葉	演習		2	2	
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義		2	2	
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習		1	1	
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習		1	1	
障害児保育	演習	2	障害児の理解と支援Ⅰ	演習		1	1		
			障害児の理解と支援Ⅱ	演習		1	1		
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習		1	1		
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習		1	1		
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習		2	2	
				保育実習Ⅰ（社会福祉施設）	実習		2	2	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習		2	2	
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習		2	2	
合 計 単 位			51	合 計 単 位		6	55	61	

学科別履修要領／こども教育学科

系 列	児童福祉法施行規則 告示別表第2による科目		指 定 単位数	こども教育学科で 開設している授業科目		開設単位数		保育士資格取得の ための単位数	
	教 科 目	授業形態		選 択 必 修	授 業 科 目	授業形態	必 修	選 択	必 修
科目 目的に関する 保育の本質・ 科目 理解に関する 保育の対象の 科目 方法に関する 保育の内容・ 保育実習			15 単 位 以 上	子どもの歯と健康	講義		2		6 単 位 以 上 選 択 必 修
				子どもの障害と医療	講義		2		
				障害者福祉持論	講義		2		
				発達心理学	講義		2		
				教育心理学	講義	2			
				カウンセリングの技法	演習		1		
				幼児理解	講義		2		
				教育相談	講義		2		
				子どものリスクとレジリエンス	講義		2		
				保育指導法	演習		1		
				多文化理解教育論	講義		2		
				保育・教育メソッド	演習		1		
				ピアノ実践奏法	演習		1		
				保育実習	保育実習Ⅱ 又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	
保育実習Ⅲ	実習		2						
保育実習指導Ⅱ 又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ		演習		1		
			保育実習指導Ⅲ		演習		1		
合 計 単 位		18単位以上	合 計 単 位			2	26		9単位以上

- (備考) 1. 保育士資格取得のために必要な単位は、学則第35条別表第1に定める卒業必修科目29単位と選択科目95単位以上を含め、124単位以上の卒業要件を満たし、別表Bの「保育士資格取得のための最低単位数」合計61単位を修得しなければならない。
2. 同じく、告示別表第2の専門科目（選択必修）については、保育実習は3単位以上、その他については6単位以上、合計9単位以上を修得しなければならない。
3. 別表Bは、「児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法」に定められている。
（一部改正平成30年厚生労働省告示第216号）

2. 幼稚園教諭一種免許状の取得

(1) 幼稚園教諭一種免許状を取得するには、本学に4年以上在学し卒業所要単位を修得することが「基礎資格」であり、基礎教養科目にはついては、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める別表Cの科目を8単位修得しなければならない。

また、別表Dに示す必修科目16単位と選択必修科目6単位及び、別表Eに示す必修科目24単位を全て修得し、さらに別表D・E・Fの選択科目より5単位以上、合計51単位以上を修得しなければならない。

(2) 幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位を修得した者には、免許状申請にかかる所定の手続きを経たのち、兵庫県教育委員会から免許状が授与される。

(3) 幼稚園教諭一種免許状の有効期間は10年で、更新には免許状更新講習が必要となる。

別表 C 幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目				
免許法施行規則に定める科目	単 位 数	こども教育学科で 開設している授業科目	修得単位数	
			必修	選択
日 本 国 憲 法	2	日 本 国 憲 法	2	
体 育	2	健 康 ス ポ ー ツ 科 学 I	1	
		健 康 ス ポ ー ツ 科 学 III	1	
外国語コミュニケーション	2	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1	
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1	
情 報 機 器 の 操 作	2	情 報 基 礎	1	
		情 報 メ デ ィ ア 演 習	1	
合 計	8	合 計	8	

別表 D 幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位

免許法施行規則に定める科目区分等		こども教育学科で 開設している授業科目	修得単位数		備 考
科 目	各科目に含めることが 必要な事項		必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健 康	子 ども と 健 康	2	① 4 単位 選択必修
		人 間 関 係	子 ども と 人 間 関 係	2	
		環 境	子 ども と 環 境	2	
		言 葉	子 ども と 言 葉	2	
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	表 現	子 ども と 造 形 表 現	1	② 2 単位 選択必修
			子 ども と 音 楽 表 現	1	
			子 ども と 身 体 表 現	1	
		保 育 内 容 総 論	1		
		保 育 指 導 法	1		
		保 育 内 容 (健 康)	2		
保 育 内 容 (人 間 関 係)	2				
保 育 内 容 (環 境)	2				
保 育 内 容 (言 葉)	2				
保 育 内 容 (造 形 表 現)	2				
保 育 内 容 (音 楽 表 現)	2				

学科別履修要領／こども教育学科

別表 E 幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位

免許法施行規則に定める科目区分等		こども教育学科で 開設している授業科目	修得単位数		備 考
科 目	各科目に含めることが 必要な事項		必修	選択	
教育の基礎的 理解に関 する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教 育 原 理	2		
		教育の思想と歴史		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教 職 論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教 育 行 政 学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教 育 心 理 学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特 別 支 援 教 育	1		
道徳、総合的な学習の 時間等の指 導法及び生 徒指導、教 育相談等に 関する科目	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教 育 課 程 総 論	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教 育 方 法 ・ 技 術 論	2		
	幼児理解の理論及び方法	幼 児 理 解	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教 育 相 談	2		
教育実践に 関する科目		カウンセリングの技法		1	
	教育実習	教 育 実 習 指 導	1		
	学校体験活動	教 育 実 習（幼稚園）	4		
	教職実践演習	教 職 実 践 演 習 （幼稚園・小学校）	2		

別表 F 幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位

免許法施行規則に定める科目区分	こども教育学科で 開設している授業科目	修得単位数		備 考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	インターンシップB		2	
	ピアノ実践奏法		1	
	教育と情報		2	

3. 小学校教諭一種免許状の取得

(1) 小学校教諭一種免許状を取得するには、本学に4年以上在学し卒業所要単位を修得することが「基礎資格」であり、基礎教養科目については、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める別表Gの科目を8単位修得しなければならない。

また、別表Hに示す必修科目30単位と選択必修3単位、別表Iに示す必修科目30単位、別表Jに示す必修科目1単位、合計64単位以上を修得しなければならない。

(2) 小学校教諭一種免許状取得に必要な単位を修得した者には、免許状申請にかかる所定の手続きを経たのち、兵庫県教育委員会から免許状が授与される。

(3) 小学校教諭一種免許状の有効期間は10年で、更新には免許状更新講習が必要となる。

別表 G 小学校教諭一種免許状取得に必要な単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目				
免許法施行規則に定める科目	単位数	こども教育学科で開設している授業科目	修得単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	健康スポーツ科学Ⅰ	1	
		健康スポーツ科学Ⅲ	1	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	
		英語コミュニケーションⅡ	1	
情報機器の操作	2	情報基礎	1	
		情報メディア演習	1	
合計	8	合計	8	

別表 H 小学校教諭一種免許状取得に必要な単位

免許法施行規則に定める科目区分等		こども教育学科で開設している授業科目	修得単位数		備考	
科目	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	国語	2	① 2単位選択必修	
		社会	社会	2		
		算数	算数	2		
		理科	理科	2		
		生活	生活			2
		家庭	家庭			2
		音楽	小学校音楽	1		
		図画工作	小学校図画工作			1
		体育	小学校体育			1
		外国語	小学校英語	2		
及各教科の指導法の活用(情報機器を含む。)	及	国語(書写を含む。)	教科指導法(国語)	2	② 1単位選択必修	
		社会	教科指導法(社会)	2		
		算数	教科指導法(算数)	2		
		理科	教科指導法(理科)	2		
		生活	教科指導法(生活)	2		
		音楽	教科指導法(音楽)	2		
		図画工作	教科指導法(図画工作)	2		
		家庭	教科指導法(家庭)	2		
		体育	教科指導法(体育)	2		
		外国語	教科指導法(外国語)	2		

学科別履修要領／こども教育学科

別表Ⅰ 小学校教諭一種免許状取得に必要な単位

免許法施行規則に定める科目区分等		こども教育学科で開設している授業科目	修得単位数		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		
		教育の思想と歴史		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2		
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導	1		
		教育実習（小学校）	4		
	学校体験活動				
	教職実践演習	教職実践演習（幼稚園・小学校）	2		

別表Ⅱ 小学校教諭一種免許状取得に必要な単位

免許法施行規則に定める科目区分	こども教育学科で開設している授業科目	修得単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	介護等体験	1		
	インターシップA		1	
	インターシップB		2	

4. 社会福祉主事任用資格の取得

社会福祉主事任用資格とは、地方自治体の福祉事務所、あるいは社会福祉施設職員等の採用に際して求められる基礎資格で、採用されると「任用」がとれ、社会福祉主事となる。

本学科では、卒業要件を満たすことにより、社会福祉主事任用資格が取得できる。

5. その他、履修に関して特に注意すべき事項は、履修指導時に説明します。